

**令和 8 年度**

**1 級建築施工管理技術検定  
第二次検定**

**～問題 1 解説～**

問題 1

持続可能な社会の実現のため、建設業には多様な視点からの生産性向上が求められているが、建築工事の現場を管理していくうえでのあなたの考えについて、次の1. 及び2. の問いに答えなさい。

なお、建築工事には、建築設備工事を含まないものとする。

1. あなたが建設現場における統括的な施工の技術上の管理を求められる立場として、右に示す工事概要の建築工事について、機能、性能等の要求された品質を確保しながら適正、かつ、合理的に進めるうえで、有効と考える現場作業の軽減策を3つ提案し、それぞれ次の①から③について具体的に記述しなさい。

ただし、3つの提案の②及び③はすべて異なる内容を記述するものとする。

なお、次の記述は不可とする。

**重複注意！**

- ・工事概要に示す工事において施工上必要としない工事及び作業に関する内容
  - ・建築確認の再申請が必要となるような変更に関する内容
  - ・工期の遅延に繋がる内容
- ① 工種名又は作業名等
- ② あなたが考える有効な現場作業の軽減策とそれが現場作業の軽減に繋がる理由
- ③ ②の実施によって現場作業の軽減及び工期の短縮以外に得られる効果

**「廃棄物削減」「品質管理の向上」  
「近隣環境への影響軽減」「安全作業」  
「災害防止」等**

1. あなたが建設現場における統括的な施工の技術上の管理を求められる立場として、右に示す工事概要の建築工事について、機能、性能等の要求された品質を確保しながら適正、かつ、合理的に進めるうえで、有効と考える現場作業の軽減策を3つ提案し、それぞれ次の①から③について具体的に記述しなさい。

ただし、3つの提案の②及び③はすべて異なる内容を記述するものとする。

なお、次の記述は不可とする。

- a・工事概要に示す工事において施工上必要としない工事及び作業に関する内容
- b・建築確認の再申請が必要となるような変更に関する内容
- c・工期の遅延に繋がる内容

#### 令和2年度 問題

なお、次の記述は不可とする。

- a・工事概要に示す工事において施工上必要としない工事及び作業に関する内容
- b・計画変更確認申請が必要となる内容
- c・竣工引渡し時期の遅れに繋がる内容
  - ・工程の短縮は図れるが現場作業の軽減には繋がらない内容
  - ・建築設備工事に関する内容 **頭文 なお書き**

R8

- ① 工種名又は作業名等
- ② あなたが考える有効な現場作業の軽減策とそれが現場作業の軽減に繋がる理由
- ③ ②の実施によって現場作業の軽減及び工期の短縮以外に得られる効果

3 事例

令和2年度 問題

- ① 工種又は部位等
- ② 実施した内容と品質確保のための留意事項
- ③ 実施した内容が施工の合理化となる理由
- ④ ③の施工の合理化以外に得られた副次的効果

「廃棄物削減」「品質管理の向上」  
 「近隣環境への影響軽減」「安全作業」  
 「災害防止」等

※ 「次工程への早期着手」に関する記述は、  
 「工期短縮」に抵触する可能性あり

R8

2. 右に示す工事概要の建築工事にかかわらず、品質を確保しながらコスト削減に繋がる施工の合理化の事例を2つあげ、次の①及び②について具体的に記述しなさい。

ただし、②はすべて異なる内容の記述とし、1. の②と同一の内容の記述は不可とする。

なお、コスト削減には、コスト増加の防止を含む。

重複注意！！

- ① 工種名又は作業名等
- ② コスト削減に繋がる施工の合理化の内容とそれがコスト削減に繋がる理由

全て異なる内容で  
 5 事例必要

2. 右に示す工事概要の建築工事にかかわらず、品質を確保しながらコスト削減に繋がる施工の合理化の事例を2つあげ、次の①及び②について具体的に記述しなさい。

ただし、②はすべて異なる内容の記述とし、1.の②と同一の内容の記述は不可とする。

なお、コスト削減には、コスト増加の防止を含む。

① 工種名又は作業名等

② コスト削減に繋がる施工の合理化の内容とそれがコスト削減に繋がる理由

#### 令和2年度 問題

2. 工事概要にあげた工事にかかわらず、あなたの今日までの工事経験に照らして、施工の合理化の取組みのうち、品質を確保しながらコスト削減を行った事例を2つあげ、①工種又は部位等、②施工の合理化の内容とコスト削減できた理由について具体的に記述しなさい。

なお、コスト削減には、コスト増加の防止を含む。

ただし、2つの事例は、1.②から④とは異なる内容のものとする。

|        |                             |        |                                |
|--------|-----------------------------|--------|--------------------------------|
| 工事名    | 事務所ビル新築工事                   |        |                                |
| 主要構造   | 鉄筋コンクリート構造                  | 用途地域   | 近隣商業地域 12m道路隣接                 |
|        | 地上6階建て                      | 工期     | 11か月                           |
| 面積     | 敷地面積 800.0 m <sup>2</sup>   | 最高高さ   | 24.5 m                         |
|        | 建築面積 480.0 m <sup>2</sup>   | 階高     | 3.8 m                          |
|        | 延べ面積 2,780.0 m <sup>2</sup> | エレベーター | 乗用 11人乗り 2台                    |
| 主な構造仕様 |                             |        |                                |
| 根切深さ   | 設計 GL-3.0 m                 | 型枠     | コンクリート型枠用合板<br>パイプサポートを用いた在来工法 |
| 地下水位深さ | 設計 GL-6.5 m                 |        |                                |
| 山留め    | 親杭横矢板工法                     | 鉄筋     | 工場加工，現場組立て<br>柱，梁主筋：ガス圧接継手     |
| 地業     | 現場造成杭 アースドリル工法              |        |                                |
| コンクリート | 現場打ちコンクリート                  | 屋上工作物  | 設備用架台                          |

通常工期

EVホール  
そこそこ広いかな..

基礎配筋に、  
足場が必要

・杭頭破碎剤

設備用架台ではないが、

ハト小屋

- ・先組み工法  
(工場ユニット加工)
- ・機械式継手

- ・ラス型枠工法（基礎）
  - ・デッキスラブ
  - ・スラブ開口部補強筋ユニット工法
  - ・パーマナント工法
- ※重複注意！！

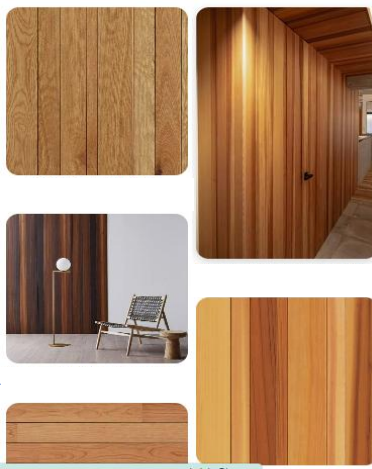
$$\text{建ぺい率} = \frac{480}{800} = 60.0\%$$

[工事概要にはないが、書ける内容]

- ・仮設足場のユニット解体

改質アスファルト  
シート防水  
・トーチ工法  
・常温粘着層付  
アスファルトシート

|                                                                                   |                    |                                                                                                       |  |                          |                                                                                                                     |                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| おも がい ぶ し あ<br>主な外部仕上げ                                                            |                    |                                                                                                       |  |                          |                                                                                                                     |                                                                 |
| 屋<br>上                                                                            | ろく や ね<br>陸 屋 根    | アスファルト <sup>ほ こ ぼうすい</sup> 保護防水<br>アルミニウム <sup>せい か さ き</sup> 製笠木                                     |  | 建<br>具                   | エントランス<br>ステンレス <sup>せい じ どうとびら</sup> 製自動 扉<br>強 化 <sup>きょう か</sup> ガラス+飛散 <sup>ひ さんぼうし</sup> 防止フィルム共 <sup>とも</sup> |                                                                 |
|                                                                                   |                    | 50 二丁 <sup>に ちょう</sup> タイル<br>内断熱 <sup>うちだんねつこうほう</sup> 工法 現場発泡断熱材 <sup>げん ば はっばうだんねつざいふき つ</sup> 吹付け |  |                          | まど<br>窓<br>アルミニウム <sup>せい</sup> 製サッシ, 複層 <sup>ふくそう</sup> ガラス<br>アルミパネル <sup>つ</sup> 付き排煙 <sup>はいえんまど</sup> 窓        |                                                                 |
| おも ない ぶ し あ<br>主な内部仕上げ (天井高さ 2.9 m 壁及び天井の下地はすべて <sup>けいりょうてつこつ</sup> 軽 量 鉄 骨とする。) |                    |                                                                                                       |  |                          |                                                                                                                     |                                                                 |
| 床<br>ゆか                                                                           | じ む しつ<br>事 務 室    | コンクリート <sup>じかなら</sup> 直均し+防塵 <sup>ぼうじん と そう</sup> 塗装<br>+ OA フロア+タイルカーペット                            |  | 壁 <sup>かべ</sup>          | EV ホール<br>せっこうボード <sup>つぎいた けいしょうばん</sup> +突板化粧板                                                                    |                                                                 |
|                                                                                   | きゅう とう しつ<br>給 湯 室 | コンクリート <sup>じかなら</sup> 直均し<br>+ 長 尺 <sup>ちょうじゃく</sup> ビニル床シート <sup>ゆか</sup>                           |  | 天<br>井                   | じ む しつ<br>事 務 室                                                                                                     | せっこうボード<br>+ ロックウール化粧 <sup>けい しょうきゅうおんばん</sup> 吸 音板             |
|                                                                                   | かい だん しつ<br>階 段 室  | モルタル <sup>した じ</sup> 下地+タイルカーペット,<br>ステンレス <sup>せい</sup> 製ノンスリップ                                      |  |                          | きゅう とう しつ<br>給 湯 室                                                                                                  | シーシングせっこうボード<br>+ ビニルクロス                                        |
|                                                                                   | EV ホール             | モルタル <sup>した じ</sup> 下地+タイルカーペット                                                                      |  |                          | かい だん しつ<br>階 段 室                                                                                                   | モルタル <sup>した じ</sup> 下地+アクリルリシン <sup>ふきつ</sup> 吹付け              |
| 壁 <sup>かべ</sup>                                                                   | じ む しつ<br>事 務 室    | せっこうボード+ EP 塗 <sup>と そう</sup> 装                                                                       |  | そ<br>の<br>他 <sup>た</sup> | EV ホール                                                                                                              | けい酸 <sup>さん</sup> カルシウム板 <sup>ばん</sup> + EP 塗 <sup>と そう</sup> 装 |
|                                                                                   | きゅう とう しつ<br>給 湯 室 | シーシングせっこうボード<br>+ ビニルクロス                                                                              |  |                          | じ む しつ<br>事 務 室                                                                                                     | いちぶ か どう ま じ きり<br>一部可動間仕切パネル                                   |
|                                                                                   | かい だん しつ<br>階 段 室  | アクリル <sup>だんせいふき つ</sup> 弾性吹付けタイル                                                                     |  |                          | きゅう とう しつ<br>給 湯 室                                                                                                  | なが だい つり と だな<br>流し台, 吊戸棚                                       |
| おも がい こう し ょう<br>主な外構仕様                                                           |                    |                                                                                                       |  |                          |                                                                                                                     |                                                                 |
| アプローチ                                                                             |                    | み かげいし ジェットバーナー <sup>し あ</sup> 仕上げ                                                                    |  | ちゅう しゃ じょう<br>駐 車 場      | アスファルト <sup>ほ そう</sup> 舗装, ライン <sup>ひ</sup> 引き区画 <sup>く か く</sup>                                                   |                                                                 |
| 敷地境界 <sup>しき ち きょうかい</sup>                                                        |                    | アルミニウム <sup>せい けい しょう</sup> 製化粧 <sup>けい しょう</sup> フェンス                                                |  |                          | 普通車 <sup>ふつうしゃ</sup> 7台 車 <sup>くるま</sup> いす用 <sup>よう</sup> 1台 <sup>だい</sup>                                         |                                                                 |



プレカット

骨材が入ってる  
吹付仕上げ

セルフレベリング工法

|   |                    |                                                                              |
|---|--------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| ① | 工種名又は作業名等          | 鉄筋工事                                                                         |
| ② | 現場作業の軽減策と軽減につながる理由 | 鉄筋組立を工場ユニット加工とし、クレーンでの吊り上げ設置とする。太物重量鉄筋の間配り、スラブ上での作業が大幅に削減できるため。              |
| ③ | ②の実施によって得られる効果     | 特に基礎配筋では、地上から根切底への昇降移動や足場での作業が軽減されるため、墜落転落災害の抑制にもなる。ユニット加工により組立て精度や堅牢性も向上する。 |

|   |                    |                                                                                            |
|---|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① | 工種名又は作業名等          | 型枠工事                                                                                       |
| ② | 現場作業の軽減策と軽減につながる理由 | 基礎型枠を在来型枠工法から、ラス型枠工法に変更する。メッシュ材により、組立ては折り曲げ・結束により容易となり、運搬・組立て加工手間の省力化を図れるため。               |
| ③ | ②の実施によって得られる効果     | 型枠の解体作業がないため、解体時の騒音が軽減され、また木くず等の建設廃棄物の発生抑制にもなる。運搬車両を減らすことができるため、CO <sub>2</sub> 排出量を低減できる。 |

|   |                    |                                                                               |
|---|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| ① | 工種名又は作業名等          | 内装工事                                                                          |
| ② | 現場作業の軽減策と軽減につながる理由 | 部屋の形状の合わせて、プレカットした壁せっこうボードを納入する。現場での採寸・加工工程の省力化となるため、切断時の切粉も少なくなり、清掃手間も軽減できる。 |
| ③ | ②の実施によって得られる効果     | 工場での機械加工により加工精度が向上する。また、端材が発生しないため、産業廃棄物の発生抑制と環境負荷低減にもなる。                     |

|   |                 |                                                           |
|---|-----------------|-----------------------------------------------------------|
| ① | 工種名又は作業名等       | 建具工事                                                      |
| ② | 合理化の内容と削減に繋がる理由 | 内装建具を従来品から、既製品に変更する。大量生産による単価減額と取付け・加工手間削減による施工費の削減となるため。 |

|   |                 |                                                      |
|---|-----------------|------------------------------------------------------|
| ① | 工種名又は作業名等       | 耐火被覆工事                                               |
| ② | 合理化の内容と削減に繋がる理由 | ロックウール吹付工法から巻付け工法に変更する。吹付養生材や飛散ロックウールの産廃処分費の削減となるため。 |

..他 7 事例

- ※ 答案の内容に重複はありませんでしたか？
- ※ 「品質に関する施工上の留意事項」を書いてませんか？（ないと思うけど…）
- ※ 枠内に収まっていたいましたか？
- ※ 丁寧に書けましたか？

# 問題 1 解答例 (小問 1 全13事例)

# 問題 2 ～問題 6 解答例

# TAC 1 級建築施工管理技士講座HP

# 請求フォームより解答例プレゼント！

R8年度

1級建築施工管理

二次検定

閲覧無料・  
登録不要

面倒な手続きなしで、誰でも閲覧可能！

ホームページにて公開中！

【無料】解答例(PDF閲覧)請求フォーム

令和8年度 1級建築施工管理技士【二次検定試験】★解答例プレゼント★

2026年10月18日(日)に実施された令和8年度1級建築施工管理技士【二次検定試験】のTACオリジナル解答例を公開します。本試験の振り返りにご活用ください。

(デなし)

|   |                   |                                                                              |
|---|-------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| ① | 工種名又は作業名等         | 鉄筋・型枠工事                                                                      |
| ② | 現場作業の軽減と軽減につながる理由 | スラブに設けるダマ穴に在来工法ではなく、スラブ開口部補強鉄ユニット工法を採用する。開口補強鉄と型枠が一体となっていることで、各種工種の省力化となるため。 |
| ③ | 確保すべき品質と施工上の留意事項  | 開口補強鉄の乱れの防止を確保すべき品質とする。設置時に補強鉄端部を全箇所結束し、コンクリート打設によるずれおりに留意する。                |

※イメージ画像

過年度(1級建築施工管理技士)の解答例です。

【無料】ご請求フォームはこちら(ご登録のメールアドレスへ即時配信)

姓

名

メールアドレス

居住都道府県

送信

検索

TAC 建築施工ブログ



**令和 8 年度**

**1 級建築施工管理技術検定  
第二次検定**

**問題 2 ～ 6 解説**

## 問題 2

建築工事における次の1. から3. の災害について、施工計画に当たり検討すべき事項として、災害の発生するおそれのある状況又は作業内容と災害を防止するための対策を、それぞれ2つ具体的に記述しなさい。

ただし、1. から3. の解答はすべて異なる内容の記述とし、保護帽の着用、要求性能墜落制止用器具の使用、絶縁用保護具の着用、朝礼時の注意喚起、点検や整備等の日常管理、安全衛生管理組織、新規入場者教育、資格や免許に関する記述は除くものとする。

なお、3. は、電力の引込口から分電盤（分電盤を含む）までの区間を対象とする。

過  
R1

1. 墜落、転落による災害 ★

初

2. 公衆災害 ★

過  
H30

3. 工事用電力設備による災害

※ 設問に「施工計画に当たり検討すべき事項～」とあるので、語尾は「～検討する。」「現在形 言い切り」かのいずれでもよい。

※ 「電動工具の取扱い」や「溶接作業」に関する、感電災害防止に関する記述は、2次側（分電盤より内側）になるため該当しない。

※ 「電線へのクレーン接近による放電」は「電力の引き込み口」より外側になるため該当しない。



電柱

仮囲い

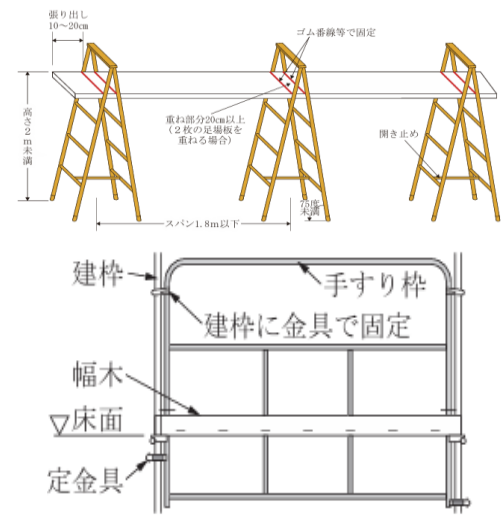
引込柱

分電盤

## 1. 墜落、転落による災害（過H26,30,R4）→災害防止で絶対出るところなので得点源 ★

脚立足場での天井仕上げ作業。転落防止のため、足場板のはね出しは 10cm 以上 20 cm 以下で 3 点支持とし、堅固に固定する。

外部足場における仕上げ作業及び資機材の運搬作業。足場作業床からの墜落防止のため、手すりと中棧の設置を検討する。



## 2. 公衆災害（初）→「飛来・落下」「崩壊・倒壊」等から書ける 何かしら書ければ得点源 ★

土工事掘削作業に伴い埋戻し用の場内土ストックにおいて、土の飛散防止のため、養生シート又はネットで土に覆いを設ける。

外部足場作業上における、第三者への飛来落下災害防止のため、足場からの張り出し水平距離 2 m 以上の防護棚を設ける。



## 3. 工事用電力設備による災害（H30「電気による災害」）

電力の引込口から分電盤（分電盤を含む）までの区間を対象

水等で濡れている場所や鉄板上で使用する移動式や可搬式の電動工具、照明器具、溶接機等を使用する状況。漏電や感電防止のため、分電盤に漏電遮断装置を設ける。

分電盤周辺状況およびケーブル配線箇所において、漏電防止のために、水たまりや湿気の多い状態とならないように計画する。



もんだい  
問題 3

しがいち　じむしょ　しんちくこうじ　じむしつぶぶん　ないそうこうじ　みぎ　こう  
市街地での事務所テナントビル新築工事における事務室部分の内装工事について、右の工

じがいよう　こうていひょうおよ　さぎょう　せこうじょうけん　よ　と　つぎ　と　こた  
事概要、工程表及び作業と施工条件を読み取り、次の1.から4.の問いに答えなさい。

こうていひょう　けいかく　じてん　さぎょう　さぎょうないよう　きさい  
工程表は計画時点におけるもので、作業⑥については作業内容を記載していない。

せつび　こうじ　でんきせつび　しょうめい　つうしんせつび　けいほうせつび　くうちょうせつび  
また、設備工事は電気設備（照明，コンセント），通信設備，警報設備，空調設備とする。

かく　さぎょう　いっぱんてき　せこうてじゅん　したが　おこな　しょうにっすう　あしば　せっち　およ  
なお、各作業は一般的な施工手順に従って行われるものとし、所要日数には足場の設置及び

てっきょ　かく　さぎょう　ひつよう　し　き　ざいうんばん　しけん　けんさとう　にっすう　ふく  
撤去、各作業に必要な資機材運搬，試験，検査等にかかる日数も含んでいる。

★ 1. 作業⑥の作業内容を記入しなさい。

★ 2. 工程表及び作業と施工条件から、④から⑧までの総所要日数を記入しなさい。

★ 3. 作業③の最早開始時期（EST）及び最遅開始時期（LST）を記入しなさい。

4. 作業②のトータルフロート及びフリーフロートを記入しなさい。

1.作業⑥の作業内容を記入しなさい

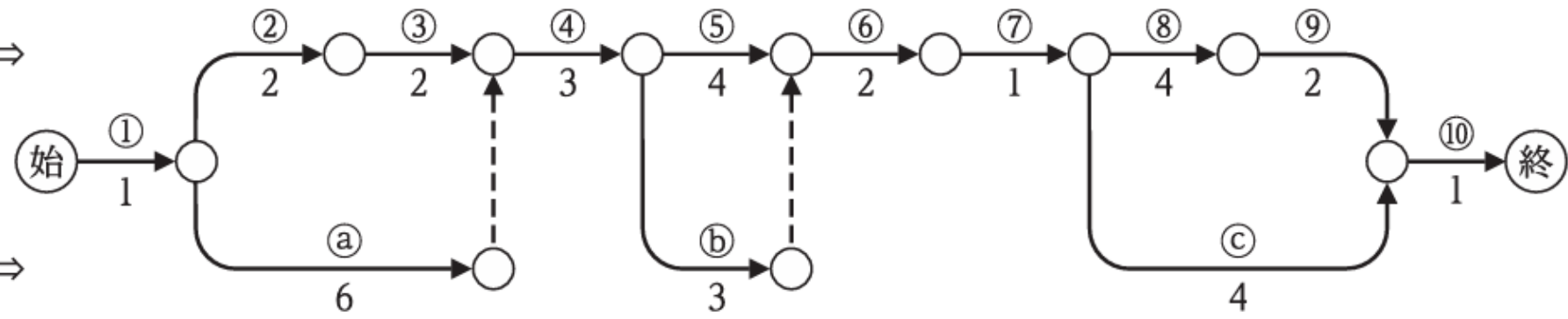
用途：事務所  
構造，規模：鉄筋コンクリート構造 地上 6 階建て，基準階における事務室部分の床面積 630.0 m<sup>2</sup>  
事務室仕上げ：床はフリーアクセスフロア下地，タイルカーペット仕上げ  
壁は軽量鉄骨下地，せっこうボード張り，塗装仕上げ（軽量鉄骨下地，せっこうボード張り，上階の躯体下端まで施工）  
天井はシステム天井下地，ロックウール化粧吸音板取付け

作業と施工条件（所要日数には足場の設置及び撤去，各作業に必要な資機材運搬，試験，検査等を含む。）

|      | 作業 | 作業内容                           | 所要日数 | 施工条件            |
|------|----|--------------------------------|------|-----------------|
| 建築工事 | ①  | すみだ墨出し                         | 1 日  |                 |
|      | ②  | 壁軽量鉄骨下地組立て，建具枠取付け              | 2 日  |                 |
|      | ③  | 壁ボード張り，ボード取合い建具枠塗装             | 2 日  | 作業④開始 3 日後以降に開始 |
|      | ④  | 壁塗装（中塗りまで）                     | 3 日  | 作業③及び④完了後に開始    |
|      | ⑤  | システム天井下地組立て                    | 4 日  |                 |
|      | ⑥  |                                | 2 日  | 作業⑥完了後に開始       |
|      | ⑦  | 壁及び建具枠仕上げ塗装                    | 1 日  |                 |
|      | ⑧  | フリーアクセスフロア敷設                   | 4 日  |                 |
|      | ⑨  | タイルカーペット張付け（幅木共）               | 2 日  |                 |
|      | ⑩  | 建具扉吊込み（工場塗装品）                  | 1 日  |                 |
| 設備工事 | ①  | 天井内設備工事（機器，配管，配線，ダクト等）及び壁配管，配線 | 6 日  |                 |
|      | ②  | 天井面設備機器取付け                     | 3 日  | 作業⑤開始 2 日後に開始   |
|      | ③  | 床下配線，フロアコンセント及び壁設備機器取付け        | 4 日  | 作業⑧開始 2 日後に開始   |

けんちくこうじ  
建築工事⇒

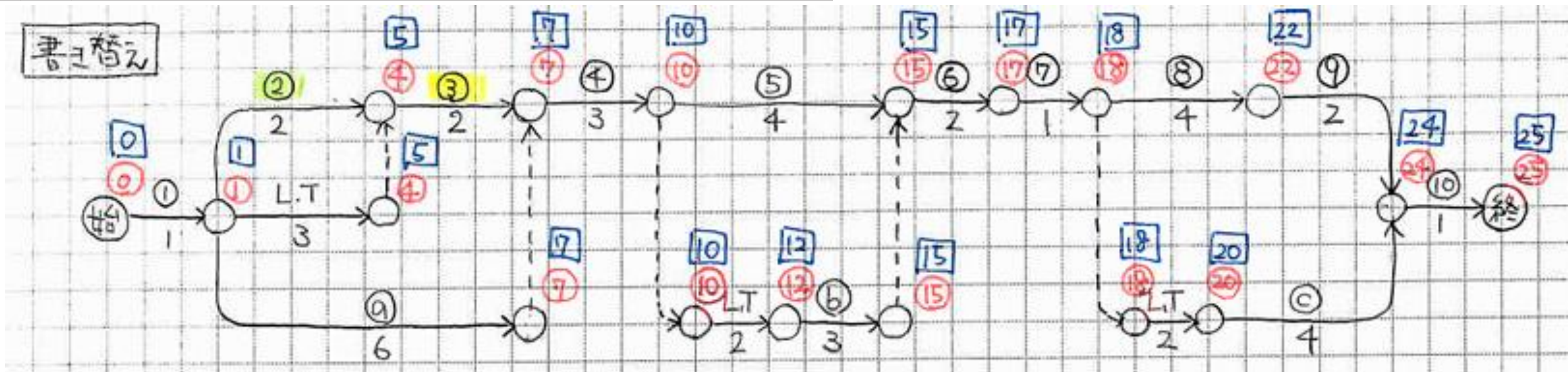
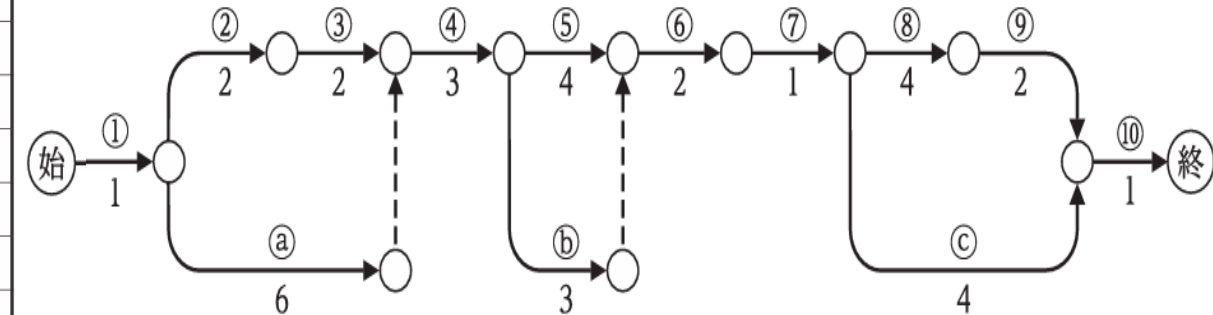
せつびこうじ  
設備工事⇒



|               | さぎょう<br>作業 | さぎょう<br>作業内容                            | しょうじょう<br>所要日数 | せこうじょう<br>施工条件           |
|---------------|------------|-----------------------------------------|----------------|--------------------------|
| けんちく<br>工事    | ①          | すみだ<br>墨出し                              | 1日             |                          |
|               | ②          | かべけいりょうてつこつしたじくみた<br>壁軽量鉄骨下地組立て、建具枠取付け  | 2日             |                          |
|               | ③          | かべ<br>壁ボード張り、ボード取合い建具枠塗装                | 2日             | さぎょうかいし<br>作業②開始3日後以降に開始 |
|               | ④          | かべとそうなかぬ<br>壁塗装（中塗りまで）                  | 3日             | さぎょうおよ<br>作業③及び②完了後に開始   |
|               | ⑤          | てんじょうしたじくみた<br>システム天井下地組立て              | 4日             |                          |
|               | ⑥          |                                         | 2日             | さぎょうかんりょうご<br>作業⑥完了後に開始  |
|               | ⑦          | かべおよ<br>壁及び建具枠仕上げ塗装                     | 1日             |                          |
|               | ⑧          | ふせつ<br>フリーアクセスフロア敷設                     | 4日             |                          |
|               | ⑨          | はりつ<br>タイルカーペット張付け（幅木共）                 | 2日             |                          |
|               | ⑩          | たてぐとびらつりこ<br>建具扉吊込み（工場塗装品）              | 1日             |                          |
| せつ<br>備<br>工事 | ①          | てんじょうないせつびこうじ<br>天井内設備工事（機器、配管、配線、ダクト等） | 6日             |                          |
|               | ②          | およ<br>及び壁配管、配線                          |                |                          |
|               | ③          | てんじょうめんせつびききとりつ<br>天井面設備機器取付け           | 3日             | さぎょうかいし<br>作業⑤開始2日後に開始   |
|               | ④          | ゆかしたはいせん<br>床下配線、フロアコンセント及び壁設備機器取付け     | 4日             | さぎょうかいし<br>作業⑧開始2日後に開始   |

|      | 作業 | 作業内容                                                 | 所要日数 | 施工条件                              |
|------|----|------------------------------------------------------|------|-----------------------------------|
| 建築工事 | ①  | すみだ<br>墨出し                                           | 1日   |                                   |
|      | ②  | かべけいりょうてっこつしたじくみた たてぐわくとりつ<br>壁軽量鉄骨下地組立て、建具枠取付け      | 2日   |                                   |
|      | ③  | かべ<br>壁ボード張り、ボード取合い建具枠塗装                             | 2日   | さぎょうかいしにちごいこうかいし<br>作業②開始3日後以降に開始 |
|      | ④  | かべとそう なかぬ<br>壁塗装（中塗りまで）                              | 3日   | さぎょうおよかんりょうごかいし<br>作業③及び②完了後に開始   |
|      | ⑤  | てんじょうしたじくみた<br>システム天井下地組立て                           | 4日   |                                   |
|      | ⑥  |                                                      | 2日   | さぎょうかんりょうごかいし<br>作業⑤完了後に開始        |
|      | ⑦  | かべおよ たてぐわくしあ とそう<br>壁及び建具枠仕上げ塗装                      | 1日   |                                   |
|      | ⑧  | ふせつ<br>フリーアクセスフロア敷設                                  | 4日   |                                   |
|      | ⑨  | はりつ はばきとも<br>タイルカーペット張付け（幅木共）                        | 2日   |                                   |
|      | ⑩  | たてぐとびらつりこ こうじょうとそうひん<br>建具扉吊込み（工場塗装品）                | 1日   |                                   |
| 設備工事 | ①  | てんじょうないせつびこうじ きき はいかん はいせん<br>天井内設備工事（機器、配管、配線、ダクト等） | 6日   |                                   |
|      | ②  | およ かべはいかん はいせん<br>及び壁配管、配線                           |      |                                   |
|      | ③  | てんじょうめんせつび ききとりつ<br>天井面設備機器取付け                       | 3日   | さぎょうかいしにちごかいし<br>作業⑤開始2日後に開始      |
|      | ④  | ゆかしたはいせん<br>床下配線、フロアコンセント及び壁設備機器取付け                  | 4日   | さぎょうかいしにちごかいし<br>作業⑧開始2日後に開始      |

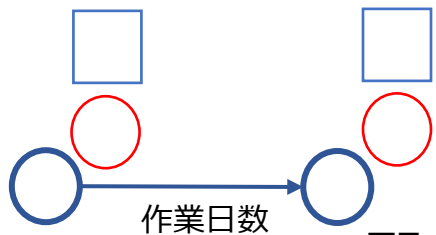
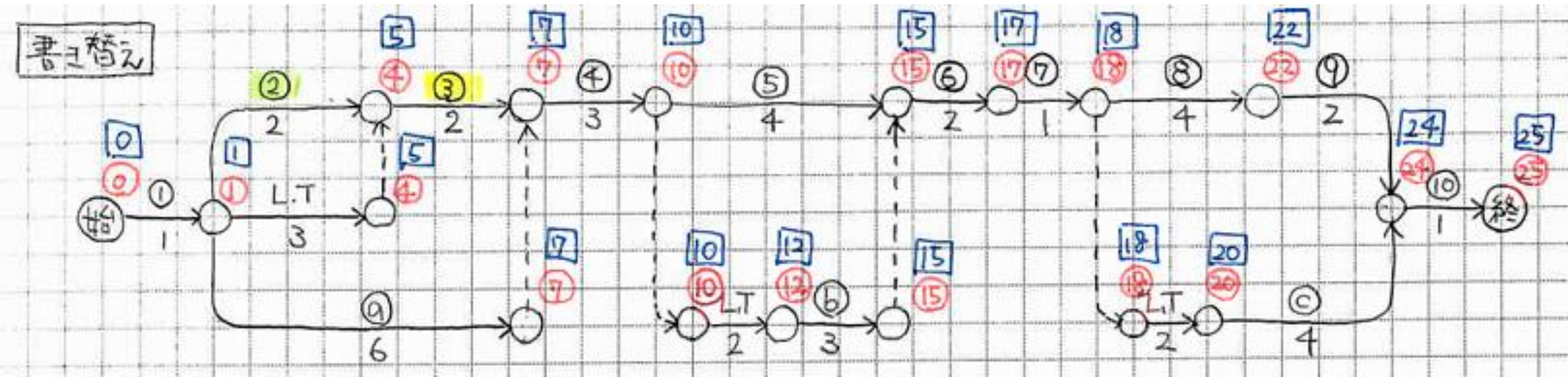
## 2.総所要日数



3.作業③の最早開始時期： **4日**

作業③の最遅開始時期： **5日**

= [後続作業④の最早開始時刻] - [作業日数] = 7 - 2 = 5日



TF : □ - ○ - 作業日数  
FF : ○ - ○ - 作業日数

4.作業② **TF : 2日、FF : 1日**

TF = [作業②の最遅終了時刻] - [作業②の最早開始時刻] - [作業日数]

= 5 - 1 - 2 = 2日

FF = [後続作業③の最早開始時刻] - [作業②の最早開始時刻] - [作業日数]

= 4 - 1 - 2 = 1日

もんだい  
問題 4

つぎ 次の 1. から 4. の問いに答えなさい。

ただし、1. から 4. の解答はすべて異なる内容の記述とし、材料の搬入及び保管、気象条件による作業の中止、各工事完了後の保護養生並びに作業上の安全に関する記述は除くものとする。

過  
H30

- ★ 1. 屋上アスファルト防水工事において、平場部にアスファルトルーフィング類を張り付ける場合の施工上の留意事項を2つ、具体的に記述しなさい。

ただし、下地及び増張りに関する記述は除くものとする。

初

2. 外壁仕上工事において、現場打ちコンクリート下地に石材を乾式工法で取り付ける場合の施工上の留意事項を2つ、具体的に記述しなさい。

過  
R4

- ★ 3. 内装床仕上工事において、木製床下地にフローリングボード又は複合フローリングを釘留め工法で張る場合の施工上の留意事項を2つ、具体的に記述しなさい。

過  
H26

- ★ 4. 内装壁仕上工事において、せっこうボード下地に壁紙を張る場合の施工上の留意事項を2つ、具体的に記述しなさい。

# 仕上り工事 項目別 問題一覧 ▶ = ☆

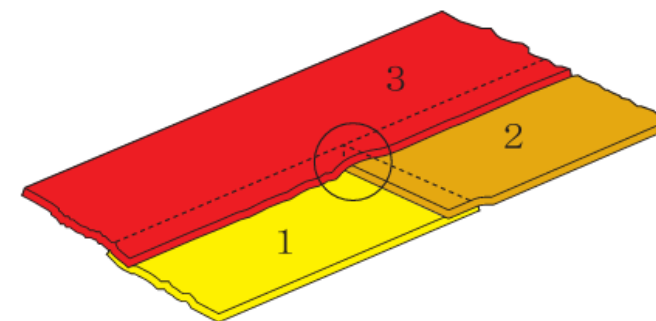
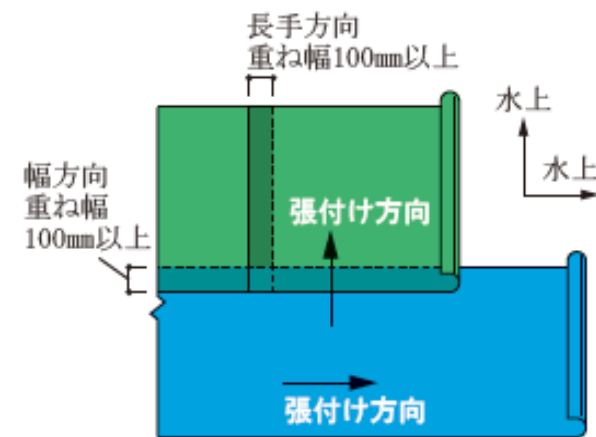
|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 防水工事  | ▶【H24】鉄筋コンクリート造建物のアルミサッシの枠回り目地に2成分形変成シリコン系シーリング材を充填するとき<br>▶【H30】屋上アスファルト防水工事において、平場部にアスファルトルーフィング類を張り付ける場合<br>▶【H28,R4】屋根保護防水断熱工法における保護層の平場部                                                                                                                                                                                             |
| 左官工事  | ▶【H26】外壁コンクリート面に防水形合成樹脂エマルジョン系 <b>複層仕上塗材</b> （防水形 <b>複層塗材E</b> ）を用いて外装仕上げ<br>▶【H30,R4】外壁コンクリート面を外装合成樹脂エマルジョン系 <b>薄付け仕上塗材</b> （外装 <b>薄塗材E</b> ）仕上げ<br>▶【H28,R6】内装床の張物下地となるセルフレベリング材塗り（固定プラント式のスラリータイプ）                                                                                                                                     |
| タイル工事 | ▶【H24】外壁下地モルタル面にセラミック（小口タイル）を <b>密着張り</b> とする場合<br>▶【H30】外壁下地モルタル面に小口タイルを <b>改良圧着張り</b> とする場合<br>▶【H28】鉄筋コンクリート造の <b>内壁</b> モルタル下地面への <b>有機系接着剤</b> によるタイル後張り工法<br>▶【R2,6】タイル工事において、 <b>有機系接着剤</b> を用いて <b>外壁</b> タイル張りを行うとき                                                                                                              |
| 屋根工事  | ▶【H26】鉄骨屋根下地に金属製重ね <b>形折板葺き</b> とするとき<br>▶【R2】屋根工事において、金属製 <b>折板屋根葺</b> を行うとき                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 金属工事  | ▶【H24】鉄筋コンクリート造建築物（階高4m程度）に間仕切り壁の軽量鉄骨下地を取り付けるとき<br>▶【H30】パラペット天端に <b>アルミニウム笠木</b> を設ける場合（パラペットは現場打ちコンクリート）<br>▶【R6】金属工事において、パラペット天端に押出型材の既製品である <b>アルミニウム製笠木</b> を設けるとき（パラペットは現場打ちコンクリート）                                                                                                                                                 |
| 建具工事  | ▶【H18】コンクリートの外壁にアルミサッシの枠を取り付けるとき、枠回りの充填モルタルを施工する前に行う<br><b>取付け精度の検査項目</b><br>▶【H20】鉄筋コンクリート造における <b>アルミニウム製外部建具</b> を取り付けるとき（墨出し又は取付け後の養生 除く）<br>▶【R4】鉄筋コンクリート造の外壁に <b>鋼製建具</b> を取り付けるとき                                                                                                                                                  |
| 内装工事  | ▶【H26】せっこうボード下地に <b>壁紙を直張り工法</b> で張るとき<br>▶【H28,R2】内装工事において、天井仕上げとして <b>ロックウール化粧吸音板</b> を、 <b>せっこうボード下地</b> に張るとき（下地材の調整、開口部補強及び張付け後の養生 除く）<br>▶【R2】断熱工事において、 <b>吹付け硬質ウレタンフォーム</b> の吹付けを行うとき<br>▶【H26,R4】木製床下地に <b>フローリングボード又は複合フローリング</b> を <b>釘留め工法</b> で張るとき（下地又は張付け後の養生 除く）<br>▶【H24,R6】内装床工事において、 <b>ビニル床シート</b> を平場部に張り付けるとき（下地 除く） |

★ 過  
H30

1. 屋上アスファルト防水工事において、平場部にアスファルトルーフィング類を張り付ける場合の施工上の留意事項を2つ、具体的に記述しなさい。
- ただし、下地及び増張りに関する記述は除くものとする。

平場では千鳥張りとする。ルーフィングの継ぎ目は縦横とも 100 mm以上重ね合わせて、水下側のルーフィングが下になるように張り付ける。

流し張りで張り付ける場合、ルーフィングの重ね部からはみ出たアスファルトはその都度はけを用いて塗りならす。

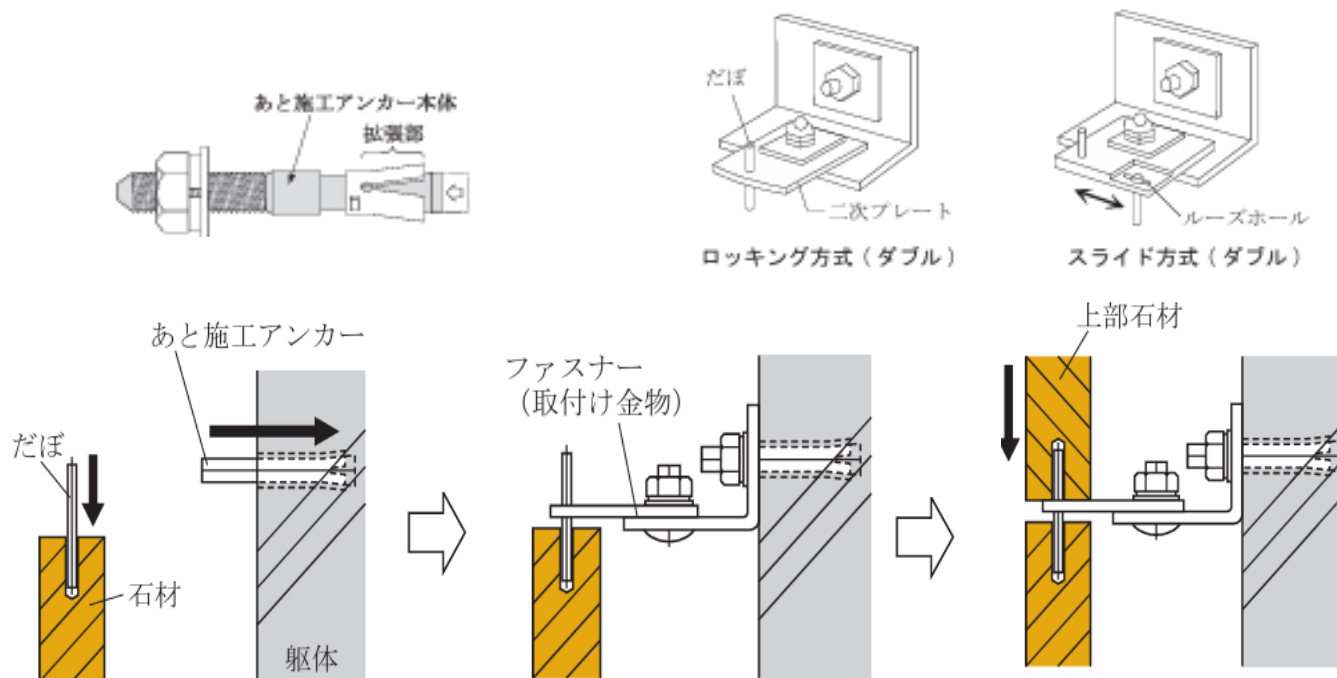
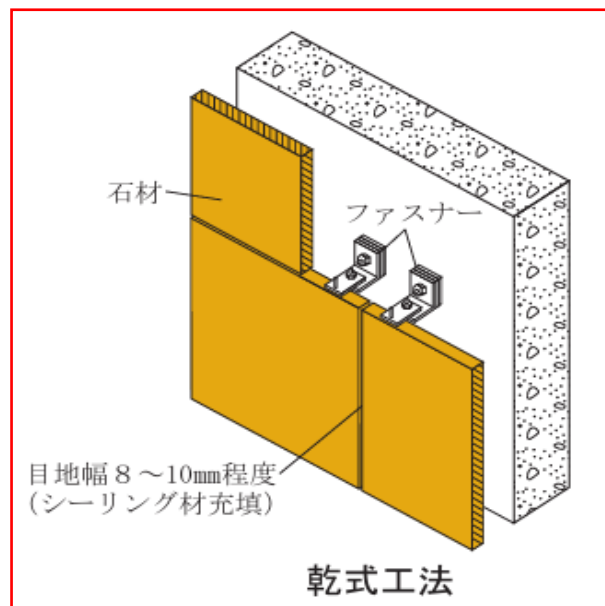
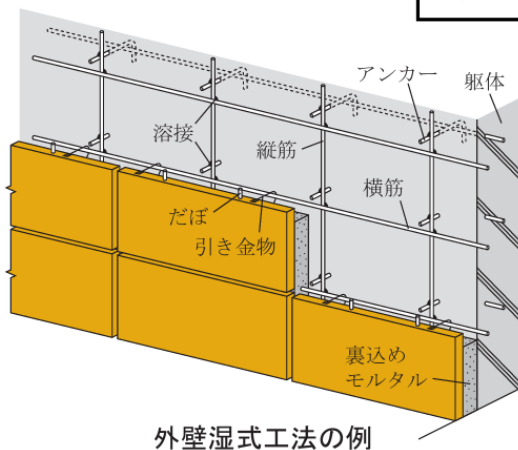


初

2. 外壁仕上工事において、現場打ちコンクリート下地に石材を乾式工法で取り付ける場合の施工上の留意事項を2つ、具体的に記述しなさい。

躯体精度 $\pm 10$  mmとファスナー寸法 60 mmから、石裏面と躯体コンクリート面の間隔は、70 mmとしこれ以上大きくならないようにする。

石材のだぼは一般に径4～5 mm $\times$ 50 mm程度、だぼ孔はだぼより1～3 mm大きくし、端あき寸法は石材の厚みの3倍以上とする。



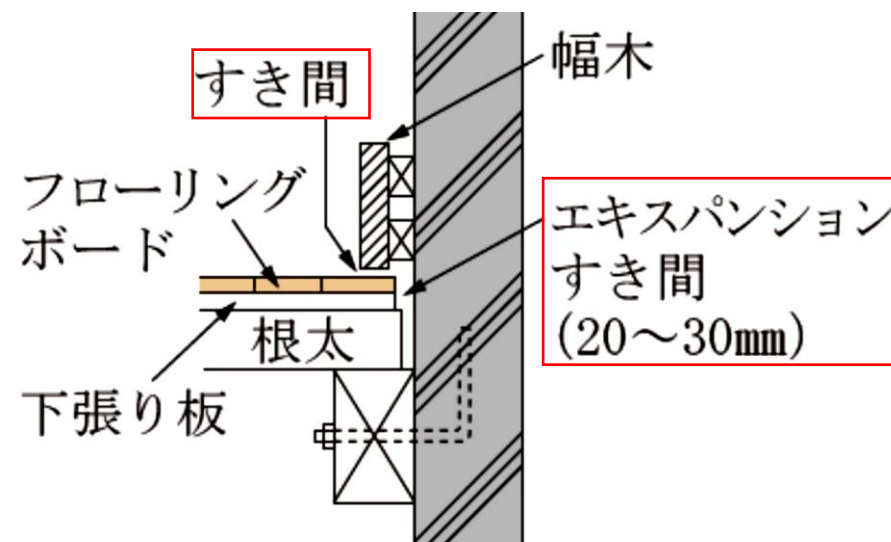
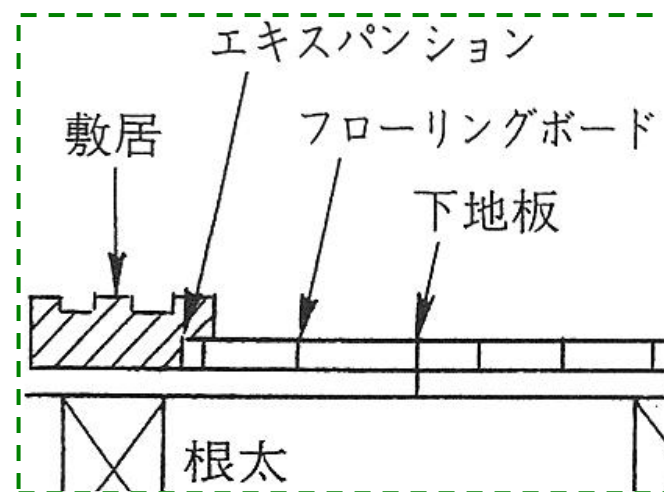
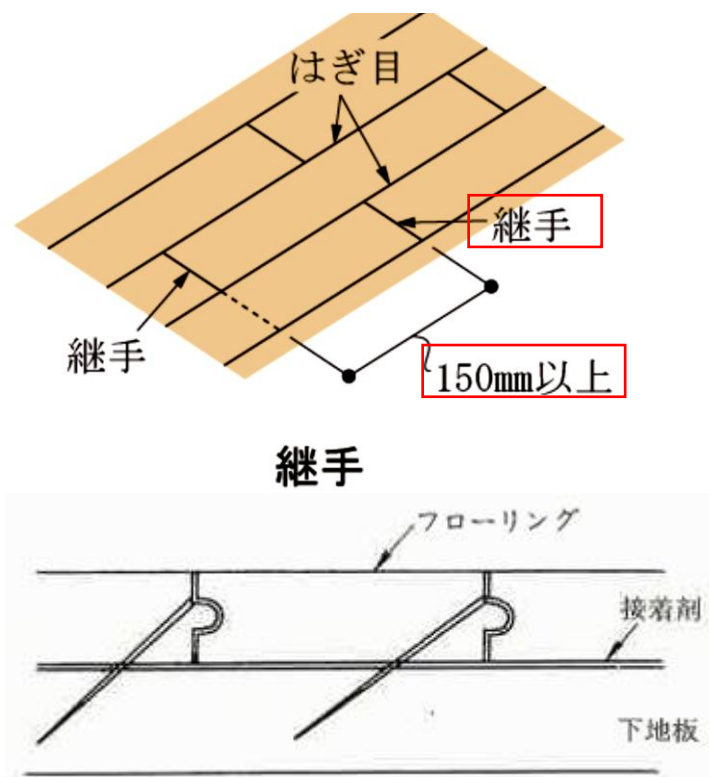


過  
R4

3. 内装床仕上工事において、木製床下地にフローリングボード又は複合フローリングを釘留め工法で張る場合の施工上の留意事項を2つ、具体的に記述しなさい。

割付けは室の中心からとし、寸法の調整は出入り口の部分を避けて壁際で行う。また、下張り用床板と上張りのフローリングボードとの継手の位置が合わないようにする。

温度変化によるフローリングボードの膨張伸縮を考慮し、壁、巾木及び敷居との取合い部分には隙間を設ける。





過  
H26

4. 内装壁仕上工事において、せっこうボード下地に壁紙を張る場合の施工上の留意事項を2つ、具体的に記述しなさい。

壁紙のジョイントはできるだけ突付け張りとし、やむを得ず重ね裁ちとする場合、下敷きを当てて行い、刃物で下地表面を傷つけないように施工する。

厚手の壁紙類を張る場合は突付け張りとし、薄手の壁紙類を張る場合は、重ね張りとし、重ね幅は10 mm程度とし、陰影の生じない方向に重ねる。



### <直張り工法>

- ① 壁紙類を張る場合は**突付け張り**とする
- ② **たるみ、模様等のくい違いのないよう**に、裁ち合わせて張り付ける
- ③ やむを得ず**重ね裁ちする場合**には、  
下敷きを当てて行い、刃物で**下地表面を傷つけることがないようにする**
- ④ 薄手の壁紙類を張る場合  
→重ね張り：重ね幅10mm程度、陰影の生じない方向に重ねる

問題 5 つぎ かく き じゅうつ 次の 1. から 8. の各記述において、 に当てはまる最も適切な語句又は数値の組合せを、下の枠内から 1 つ選びなさい。

過 R 2

- ★ 1. つり足場における作業床の  a は、ゴンドラのつり足場を除き、 b を、つりワイヤロープ及びつり鋼線は  c 以上、つり鎖及びつりフックは 5.0 以上、つり鋼帯並びにつり足場の下部及び上部の支点は鋼材の場合 2.5 以上となるように定める。

|   | a      | b    | c    |
|---|--------|------|------|
| ① | つり荷重   | 荷重係数 | 7.5  |
| ② | 最大積載荷重 | 安全係数 | 7.5  |
| ③ | 最大積載荷重 | 安全係数 | 10.0 |
| ④ | 最大積載荷重 | 荷重係数 | 7.5  |
| ⑤ | つり荷重   | 安全係数 | 10.0 |

吊り足場の安全係数

吊りワイヤロープ、吊り鋼線の安全係数：10以上

吊り鎖（チェーン）、吊りフックの安全係数：5以上

吊り鋼帯・吊り足場の上下支点部（鋼材）：2.5以上

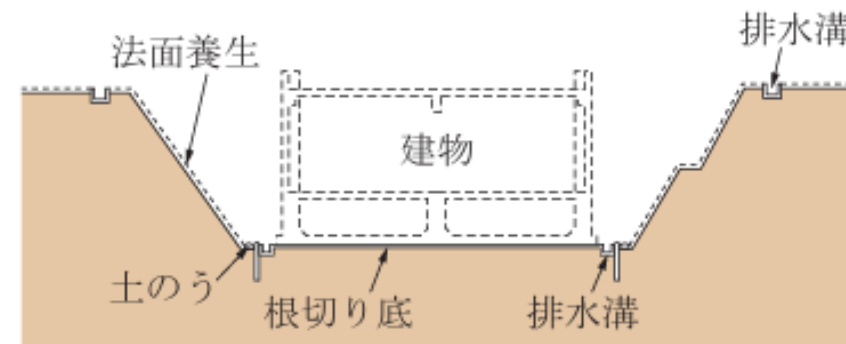
「安全係数」

吊り材の切断荷重の値を、  
吊り材にかかる「最大積載荷重」で除した値。  
安全係数が高いほど、安全。

## 過 R4

- ★ 2. 根切りにおいて、床付け面を乱さないため、機械式掘削では、通常床付け面上 a の土を残して、残りを手掘りとするか、ショベルの刃を b のものに替えて掘削する。
- 床付け面を乱してしまった場合は、礫や砂質土であれば c で締め固め、粘性土の場合は、良質土に置換するか、セメントや石灰等による地盤改良を行う。

|   | a              | b   | c   |
|---|----------------|-----|-----|
| ① | 20 cm から 30 cm | 平 状 | 転 圧 |
| ② | 20 cm から 30 cm | 爪 状 | 水締め |
| ③ | 20 cm から 30 cm | 平 状 | 水締め |
| ④ | 30 cm から 50 cm | 爪 状 | 転 圧 |
| ⑤ | 30 cm から 50 cm | 平 状 | 転 圧 |



爪状

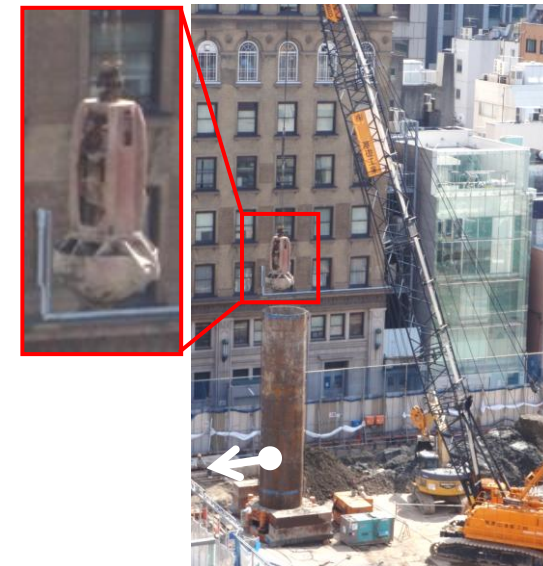


平板状

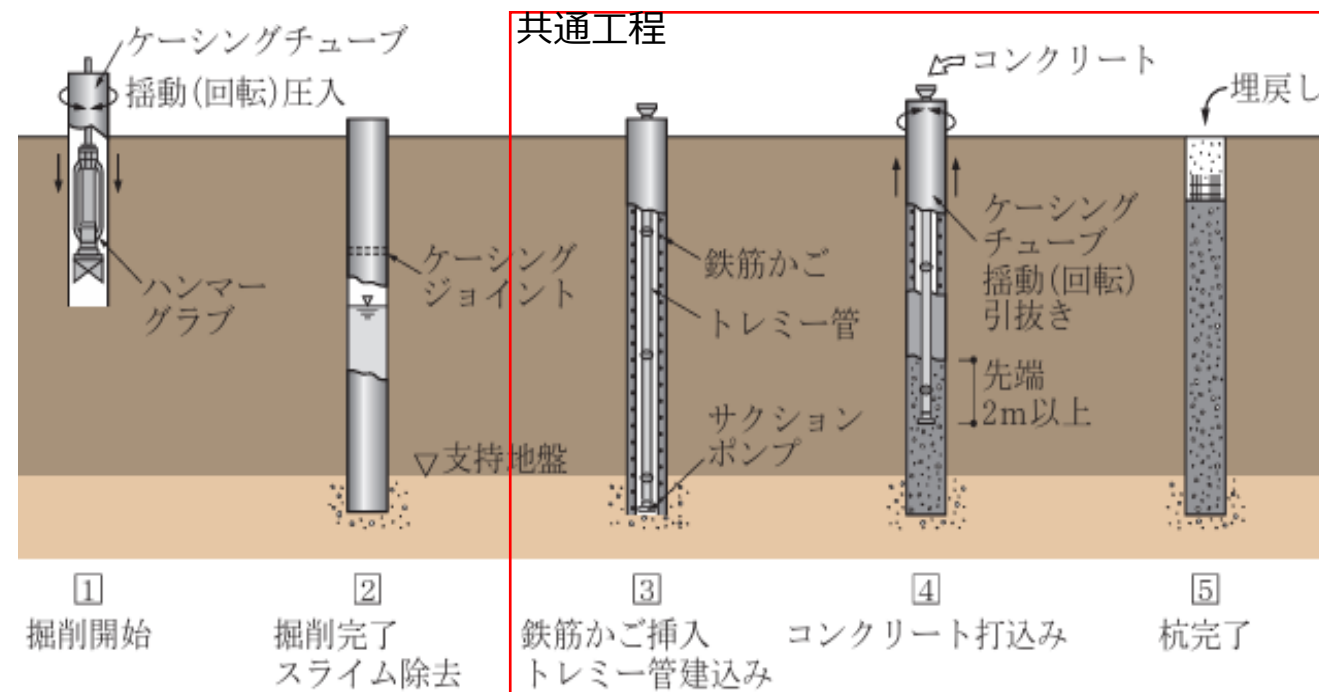
れき・砂質土→ローラー等による**転圧**や**締め固め**  
 粘性土→良質土への**置換**・セメントや石灰等で**地盤改良**

★3. 場所打ちコンクリート杭地業のオールケーシング工法において、地表面下 a m 程度までのケーシングチューブの初期の圧入精度によって以後の掘削の鉛直精度が決定される。

掘削はハンマグラブを用いて行い、一次スライム処理は、b が多い場合には、沈殿バケットを用いて処理し、コンクリート打込み直前までに c が多い場合には、二次スライム処理を行う。



|   | a  | b             | c             |
|---|----|---------------|---------------|
| ① | 5  | こうないすい<br>孔内水 | ちんでんぶつ<br>沈殿物 |
| ② | 10 | こうないすい<br>孔内水 | ちんでんぶつ<br>沈殿物 |
| ③ | 5  | こうないど<br>孔内土  | ふゆうぶつ<br>浮遊物  |
| ④ | 10 | こうないすい<br>孔内水 | ふゆうぶつ<br>浮遊物  |
| ⑤ | 10 | こうないど<br>孔内土  | ちんでんぶつ<br>沈殿物 |

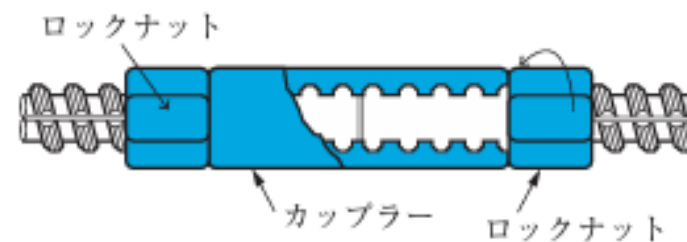
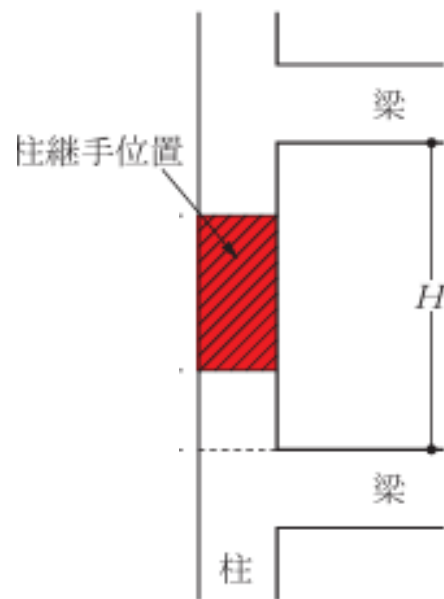


4. 鉄筋の機械式継手において、カップラー等の接合部分の耐力は、継手を設ける主筋等の降伏点に基づく耐力以上とし、引張力の最も  位置に設けられない場合は、当該耐力の1.35倍以上の耐力又は主筋等の引張強さに基づく耐力以上とする。

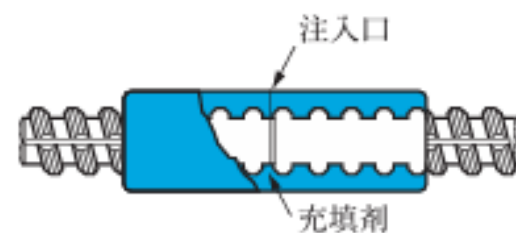
モルタル、グラウト材その他これに類するものを用いて接合部を固定する場合にあっては、当該材料の強度を   $\text{N/mm}^2$  以上とする。

ナットを用いた  の導入によって接合部を固定する場合にあっては、所定の数値以上の  値とし、導入軸力は  $30 \text{ N/mm}^2$  を下回ってはならない。

|   | a   | b  | c       |
|---|-----|----|---------|
| ① | 大きな | 20 | 曲げモーメント |
| ② | 小さな | 20 | トルク     |
| ③ | 小さな | 50 | 曲げモーメント |
| ④ | 小さな | 50 | トルク     |
| ⑤ | 大きな | 20 | トルク     |



トルク方式



グラウト方式

- ★5. 型枠に作用するコンクリートの側圧に影響する要因は、コンクリートの打込み速さ、比重、打込み高さ及び柱、壁等の部位の形状がある。

打込み速さが速ければコンクリートヘッドが **a** になって、最大側圧が大となり、せき板材質の透水性又は漏水性が **b** と最大側圧は小となる。

コンクリートが軟らかければ、コンクリートの内部摩擦角が **c** になって、液体圧に近くなり側圧は大となる。

|   | a  | b   | c   |
|---|----|-----|-----|
| ① | 高く | 大きい | 小さく |
| ② | 低く | 小さい | 大きく |
| ③ | 低く | 大きい | 大きく |
| ④ | 高く | 大きい | 大きく |
| ⑤ | 高く | 小さい | 小さく |

|               | 小 ← 側圧 → 大※ |      |
|---------------|-------------|------|
| コンクリートの打込み速さ  | 遅           | 速    |
| コンクリートのヘッド(H) | 低           | 高(大) |
| コンクリートの質量     | 小           | 大    |
| コンクリートの温度、気温  | 高           | 低    |

- せき板材質の透水性又は漏水性が**大きい**と最大側圧は**小さく**なる
- 打ち込んだコンクリートと型枠表面との摩擦係数が**小さい**ほど、液体圧に近くなり最大側圧は**大きく**なる (大きい×)

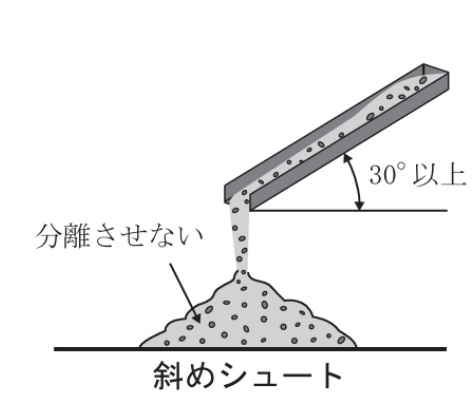
過 R2

★ 6. 型枠の高さが  $\boxed{a}$  m 以上の柱にコンクリートを打ち込む場合、たて型シュートや打ち込み用ホースを接続してコンクリートの分離を防止する。

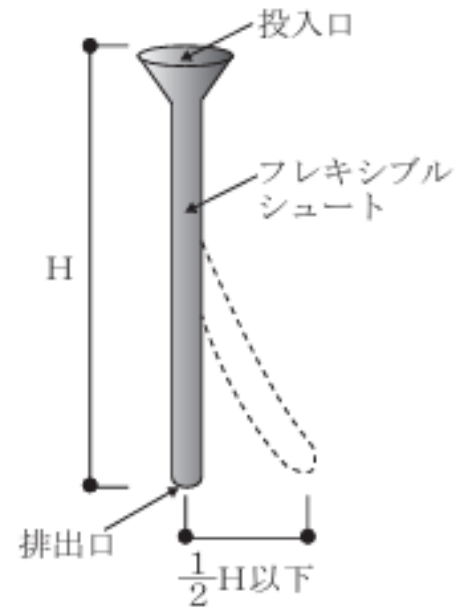
たて型シュートを用いる場合、その投入口と排出口との水平方向の距離は、垂直方向の高さの約  $\boxed{b}$  以下とする。

また、斜めシュートはコンクリートが分離しやすいが、やむを得ず使用する場合は、その傾斜角度を水平に対して  $\boxed{c}$  ° 以上とする。

|   | a   | b             | c  |
|---|-----|---------------|----|
| ① | 4.5 | $\frac{2}{3}$ | 30 |
| ② | 4.5 | $\frac{1}{2}$ | 15 |
| ③ | 3.5 | $\frac{2}{3}$ | 15 |
| ④ | 4.5 | $\frac{1}{2}$ | 30 |
| ⑤ | 3.5 | $\frac{1}{2}$ | 15 |



※ 骨材は転がるときに分離しやすい。



## 初 一次検定の内容から

★ 7. 普通ポルトランドセメントを用いたコンクリートの打込み後5日間は、コンクリートの温度が  a  °C を下らないようにし、かつ、乾燥、震動等によって凝結及び硬化が妨げられないように養生を行う。

打込み後のコンクリートの湿潤養生の期間は、  b  の場合は5日以上とし、早強ポルトランドセメントの場合は3日以上とする。

普通ポルトランドセメントを用いた厚さ18cm以上のコンクリート部材においては、コンクリートの圧縮強度が  c  N/mm<sup>2</sup> 以上になれば、以降の湿潤養生を打ち切ることができる。

### 【1】湿潤養生

養生期間：普通ポルトランドセメントの場合は5日以上、早強ポルトランドセメントの場合は3日以上とします。また、いずれのセメントの場合も圧縮強度が10N/mm<sup>2</sup>以上になれば、湿潤養生を打ち切るこ

### 【2】養生温度

❶ 打込み中及び打込み後5日間以上はコンクリートの温度を2°C以上に保たなければなりません。なお、早強ポルトランドセメントの場合は3日間以上とすることができます。

|   | a | b            | c  |
|---|---|--------------|----|
| ① | 0 | 普通ポルトランドセメント | 10 |
| ② | 0 | 高炉セメント B 種   | 5  |
| ③ | 2 | 高炉セメント B 種   | 10 |
| ④ | 2 | 高炉セメント B 種   | 5  |
| ⑤ | 2 | 普通ポルトランドセメント | 10 |

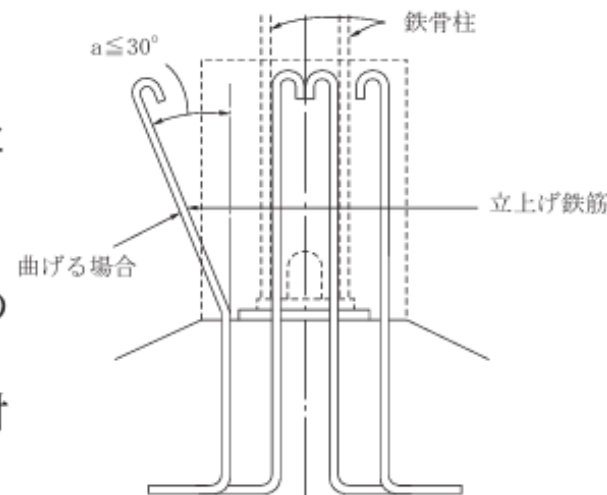
# 初 一次検定の内容から

8. 柱脚部分が鉄骨鉄筋コンクリート構造の柱の建方において、建方や建入れ直しの支障となった柱主筋を折り曲げる場合、曲げ角度は鉛直に対して最大 a ° とする。

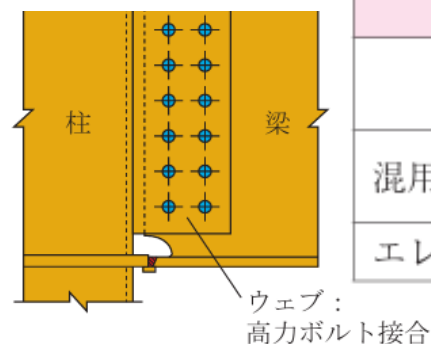
梁のフランジを溶接接合、ウェブをボルトの配列が1列の高力ボルト接合とする混用接合の

仮ボルトは、ボルト1群に対して  $\frac{1}{\text{b}}$  , かつ、2本以上をバランスよく配置して締め付ける。

柱の溶接継手のエレクションピースに使用する仮ボルトは、 c ボルトを使用して全数締め付ける。

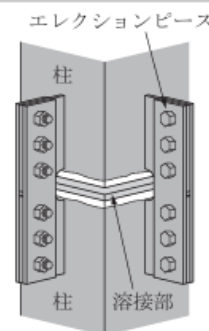


|   | a  | b | c  |
|---|----|---|----|
| ① | 30 | 2 | 普通 |
| ② | 40 | 2 | 高力 |
| ③ | 30 | 2 | 高力 |
| ④ | 40 | 3 | 普通 |
| ⑤ | 30 | 3 | 高力 |



混用接合の例

| 継手の種類     | 仮ボルトの材種         | 本数                    |
|-----------|-----------------|-----------------------|
| 高力ボルト     | 普通ボルト<br>(中ボルト) | $\frac{1}{3}$ 程度・2本以上 |
| 混用接合・併用継手 |                 | $\frac{1}{2}$ 程度・2本以上 |
| エレクションピース | 高力ボルト           | 全数                    |



エレクションピースに用いる仮ボルト

問題 6

次の 1. から 3. の各法文において、 に当てはまる正しい語句を、下の該当する枠内から 1 つ選びなさい。

★ 1. 建設業法（主任技術者及び監理技術者の職務等） 過H28,R1

第 26 条の 4 主任技術者及び監理技術者は、工事現場における建設工事を ① に実施するため、当該建設工事の施工計画の作成、工程管理、品質管理その他の技術上の管理及び当該建設工事の施工に従事する者の ② の職務を誠実に行わなければならない。

2 (略)

|   |      |      |      |      |      |
|---|------|------|------|------|------|
| ① | ① 迅速 | ② 円滑 | ③ 安全 | ④ 適正 | ⑤ 着実 |
|---|------|------|------|------|------|

|   |            |            |            |
|---|------------|------------|------------|
| ② | ① 技術上の指導監督 | ② 安全上の指導監督 | ③ 労務上の指導監督 |
|   | ④ 技術の確保    | ⑤ 安全の確保    |            |

2. 建築基準法施行令（基礎工事用機械等の転倒による危害の防止） **初** TACテキスト p 622掲載アリ

第136条の4 建築工事等において次に掲げる基礎工事用機械（動力を用い、かつ、不特定の場所に自走することができるものに限る。）又は移動式クレーン（吊り上げ荷重が0.5トン以上のものに限る。）を使用する場合には、**③**等の使用等によりその転倒による工事現場の周辺への危害を防止するための措置を講じなければならない。ただし、**④**の状況等により危害防止上支障がない場合においては、この限りでない。

|   |          |         |         |
|---|----------|---------|---------|
| ③ | ① 敷板，敷栈  | ② 敷板，敷桁 | ③ 敷板，敷角 |
|   | ④ 張り出し装置 | ⑤ 傾斜計   |         |

|   |      |      |      |      |      |
|---|------|------|------|------|------|
| ④ | ① 作業 | ② 敷地 | ③ 天候 | ④ 地形 | ⑤ 地盤 |
|---|------|------|------|------|------|

3. 労働安全衛生規則 (安全装置等の有効保持) **初**

第28条 事業者は、法及びこれに基づく命令により設けた安全装置、覆い、囲い等（以下「安全装置等」という。）が有効な状態で使用されるようそれらの ⑤ 及び整備を行わなければならない。

第29条 労働者は、安全装置等について、次の事項を守らなければならない。

- 一 安全装置等を取りはずし、又はその ⑥ を失わせないこと。
- 二 臨時に安全装置等を取りはずし、又はその ⑥ を失わせる必要があるときは、あらかじめ、事業者の許可を受けること。
- 三 (略)
- 四 (略)
- 2 (略)

|   |      |      |      |      |      |
|---|------|------|------|------|------|
| ⑤ | ① 管理 | ② 点検 | ③ 保守 | ④ 運用 | ⑤ 調整 |
|---|------|------|------|------|------|

|   |       |       |      |      |      |
|---|-------|-------|------|------|------|
| ⑥ | ① 安全性 | ② 耐久性 | ③ 効力 | ④ 強度 | ⑤ 機能 |
|---|-------|-------|------|------|------|

|               |           |     |      |   |
|---------------|-----------|-----|------|---|
| 問題 2<br>【12点】 | 1.墜落・転落災害 | R4  | 2点×2 | ★ |
|               | 2.公衆災害    | New | 2点×2 | ★ |
|               | 3.工事用電力設備 | H30 | 2点×2 |   |

|               |          |  |    |   |
|---------------|----------|--|----|---|
| 問題 3<br>【12点】 | 1.作業内容   |  | 2点 | ★ |
|               | 2.総所要日数  |  | 2点 | ★ |
|               | 3.最早開始時刻 |  | 2点 | ★ |
|               | 最遅開始時刻   |  | 2点 |   |
|               | 4.T.F    |  | 2点 |   |
|               | F.F      |  | 2点 |   |

|               |                 |     |      |   |
|---------------|-----------------|-----|------|---|
| 問題 4<br>【16点】 | 1.アスファルトルーフィング* | H30 | 2点×2 | ★ |
|               | 2.石 乾式          | New | 2点×2 |   |
|               | 3.フローリング*       | R4  | 2点×2 | ★ |
|               | 4.壁紙            | H26 | 2点×2 | ★ |

|               |            |      |    |   |
|---------------|------------|------|----|---|
| 問題 5<br>【16点】 | 1.仮設       | R2   | 2点 | ★ |
|               | 2.床付け      | R4   | 2点 | ★ |
|               | 3.杭工事      | R4   | 2点 | ★ |
|               | 4.機械式継手    | H30臨 | 2点 |   |
|               | 5.型枠側圧     | R4   | 2点 | ★ |
|               | 6.コンクリート打設 | R2   | 2点 | ★ |
|               | 7.養生       | New  | 2点 | ★ |
|               | 8.鉄骨       | New  | 2点 |   |

|               |       |        |      |   |
|---------------|-------|--------|------|---|
| 問題 6<br>【12点】 | 1.業法  | H28,R1 | 2点×2 | ★ |
|               | 2.基準法 | New    | 2点×2 |   |
|               | 3.安衛法 | New    | 2点×2 |   |

★がとれてると、  
**合計 68点+問題 1 : 32点=100点 (仮) 42点 (目安)**  
 6割 :  $68 \times 0.6 = 40.8$ 点

**T A C 1 級建築施工管理技士講座 H P**  
**請求フォームより解答例プレゼント！**

# TAC 建築施工ブログ

